

鹿角市地球温暖化対策実行計画の進捗について（令和 6 年度）

対策 1 再エネ電気メニューへの切替

内 容： かつのパワーが再エネ電源を確保しながら地域の再エネを供給し、電気由来の CO2 を削減します。

削減量目標： 4.62 万 t-CO2、対策目標：市内電力需要の 50%、約 8,700 万 kWh の切替

削減値： 9,536t-CO2 (18,060,930kWh)

－＜実施状況＞－

(1) かつのパワーの電源確保

かつのパワーの地産電源の確保に連携して取り組み、令和 6 年度から新たに大湯水力発電所、仙北市小和瀬水力発電所及び福島県太陽光発電所等の調達と需要家への供給を開始した。

(2) 再エネ電気メニューへの切替促進

令和 7 年 3 月 31 日時点で公共 73 件、民間 131 件に契約が拡大し、令和 6 年度の売電量は 20,831,654 kWh となり、そのうち市内需要家への販売量は 18,060,930kWh であった。

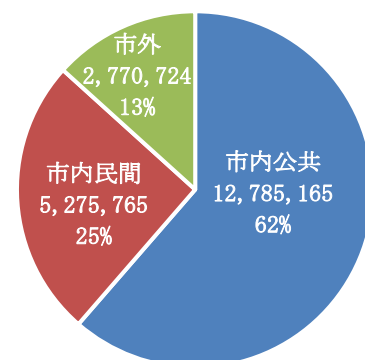
■契約状況

	R6(2024).3.31 時点	R7(2025).3.31 時点
契約電力	4,557kW	9,849kW
契約数	63 件（うち市外 2 件）	204 件（うち市外 31 件）
公共・民間の内訳	公共 57 件、民間 6 件	公共 73 件、民間 131 件

■販売実績（R6.4～R7.3）

売電先	販売電力量(kWh)	
	売電量	計
市内公共	12,785,165	18,060,930
市内民間	5,275,765	
市外	2,770,724	2,770,724
計		20,831,654

販売電力量 (kWh)



(3) 地域向け電源の導入促進（再エネ推進交付金事業）

市の遊休地で募集した 5 件の太陽光発電について、すべて発電を開始した。

件数	出力	場所
5 件	242kW	旧扇平分校跡地、旧大湯温泉スキー場跡地、旧曙地区市民プール跡地、旧大里松館市民プール跡地、旧花軒田分校跡地

対策2 自家消費型再エネ電源の導入

内 容： 自家消費型の太陽光、木質バイオマスコジェネを導入し、電気由来のCO2を削減します。

削減量目標： 0.63万t-CO2、対象目標：太陽光10,000kW、木質バイオマス320kW

削減値： 128t-CO2（太陽光180kW）

－＜実施状況＞－

(1) 再エネ設備の導入支援（再エネ推進交付金事業）

個人・事業者の自家消費型太陽光・蓄電池の導入に係る初期費用について補助事業を実施した。

内訳	R5(2023)年度	R6(2024)年度	合計
個人	6件(47.7kW)	10件(75kW)	16件(122.7kW)
事業者	0件	2件(105kW)	2件(105kW)

対策3 EVへの切替

内 容： EVに必要なインフラを整えることで、EVへの切り替えを進め、動力由来のCO2を削減します。

削減量目標： 0.05万t-CO2、対策目標：300台

削減値： 36t-CO2（販売台数22台）

－＜実施状況＞－

(1) コムスを活用したEV体験会・展示会の開催

一人乗りの電気自動車コムスを活用し、10月14日（月）にコムス試乗会及び市内ディーラーによる電気自動車、電動バイク等の展示会をあんたらあにて開催し、電気自動車購入の機運醸成を図った。また、試乗体験者にアンケートを実施し、ニーズ等導入可能性について調査した。

(2) コムス貸出実証

コムス2台を1事業者1団体に貸し出し、モニター調査を行い、EV転換への関心と理解を深めた。

(3) EVセミナーの開催

EVの導入について普及啓発をするため、2月21日（金）に感動！鹿角パークホテルで事業者向けにEVセミナーを開催した。

(4) EV販売台数

市内自動車販売店で販売されたEV（PHEV含む）の台数は22台となった。

R4(2022)年度以前	R5(2023)年度	R6(2024)年度	合計
120台	25台	22台	167台

対策4 省エネ設備への更新

内 容： 省エネ機器への更新を進め、電気・熱由来のCO₂を削減します。

削減量目標： 0.2万t-CO₂、対策目標：市内電力需要の2%、約370万kWh/年

削減値： 301t-CO₂

－＜実施状況＞－

(1) 省エネ診断の推進

福祉保健センター、大湯ストーンサークル館の省エネ診断を実施したほか、省エネ設備更新支援に省エネ診断を要件化し、15事業所が実施した。

(2) 省エネ設備更新の支援

① 省エネ設備等更新支援補助金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

事業所の省エネ設備更新に係る費用について補助事業を実施した。

更新設備	件数	エネルギー削減量			CO ₂ 削減量
空調等	9件	電気	40,168 kWh		53.7t-CO ₂
		LPガス	1.53 m ³		
		灯油・重油	314.6 kL		
照明	4件	電気	14,429 kWh		7.6t-CO ₂
		LPガス	0 m ³		
		灯油・重油	0 kL		
その他 (溶接機・ボイラー等)	2件	電気	31,062 kWh		21.32t-CO ₂
		LPガス	0 m ³		
		灯油・重油	2.4 kL		
合計	15件	電気	85,658 kWh		82.6t-CO ₂
		LPガス	1.53 m ³		
		灯油・重油	317.0 kL		

② 省エネ家電購入支援補助金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

個人の省エネ家電（エアコン、冷蔵庫）の購入に係る費用について補助事業を実施した。

更新設備	件数	エネルギー削減量			CO ₂ 削減量
エアコン	72件	電気	-21,579 kWh		57.7t-CO ₂
		LPガス	0 m ³		
		灯油・重油	24.8 kL		
冷蔵庫	98件	電気	27,640 kWh		14.4t-CO ₂
		LPガス	0 m ³		
		灯油・重油	0 kL		
両方	19件	電気	3,595 kWh		16.4t-CO ₂
		LPガス	0 m ³		
		灯油・重油	5.8 kL		
合計	189件	電気	9,656 kWh		88.5t-CO ₂
		LPガス	0 m ³		
		灯油・重油	30.6 kL		

③ 高効率空調・照明等導入補助金（再エネ推進交付金事業）

個人・事業者の高効率な空調、給湯、調光機能付き照明設備の導入に係る費用について補助事業を実施した。

更新設備	件数	エネルギー削減量	CO2削減量
空調（個人）	19件	電気 -9,550 kWh LPガス 0 m ³ 灯油・重油 17.5 kL	39.9t-CO2
空調（事業者）	4件	電気 4,731 kWh LPガス 0 m ³ 灯油・重油 1.9 kL	9.5 t-CO2
給湯（個人）	9件	電気 80,323 kWh LPガス 0 m ³ 灯油・重油 15.2 kL	80.2 t-CO2
合計	32件	電気 75,504 kWh LPガス 0 m ³ 灯油・重油 34.6 kL	129.6 t-CO2

④ 公共施設の省エネ設備への更新

花輪さくら保育園のLED化：令和6年9月に工事完了

対策5 建物の熱対策

内 容： 断熱改修や ZEH、薪ストーブ、木質バイオマス熱利用機器の導入を進め、
電気・熱由来の CO2 を削減します。

削減量目標： 0.66 万 t-CO2、対策目標：66 件/年の断熱改修、ZEH、薪ストーブ導入、
木質バイオマス熱利用 3 件

削 減 値： 39t-CO2

－＜実施状況＞－

(1) 木質バイオマス熱利用の導入支援（再エネ推進交付金事業）

個人の薪・ペレットストーブの導入に係る費用について補助事業を実施した。

内訳	R5(2023)年度	R6(2024)年度	合計
個人	4 件	3 件	7 件

(2) 住宅の断熱改修支援（安全安心住まいづくり事業）

個人の住宅の断熱改修工事に係る費用について補助事業を実施した。

内訳	R5(2023)年度	R6(2024)年度	合計
個人	25 件	31 件	56 件

対策6 適切な森林管理

内 容： 森林経営管理計画を進め、間伐や伐採・再造林など適切な森林管理を継続し、森林吸収量を維持します。

削減量目標： 吸収量 15.7 万 t-CO₂ を維持

対策目標： 森林経営管理計画のカバー率 100%

削減推計値： 統計値未公表（近年の森林蓄材量から計算される推定吸収量は 16.5 万 t-CO₂）

－＜実施状況＞－

(1) 適切な森林管理

① 森林経営管理推進事業

管理計画に基づく森林管理業務（管理面積 742.90ha、うち除伐面積 36.64ha）を実施した。

② 再造林の推進

2 件（15.26ha）の再造林等について届出があった。

③ 間伐の推進

4 件（71.25ha）の搬出間伐について支援した。

(2) 林業人材の育成

新規就業雇用助成制度を実施し 4 者（9 人分）の実績があったが、林業大学生への家賃補助は利用実績がなかった。

対策7 その他脱炭素行動の促進

内 容： 節電、クールビズ、節水、公共交通の利用、ごみの削減、低炭素商品の選択など、CO2削減行動に努めます。

削減目標： なし、対策目標なし。

－＜実施状況＞－

(1) 「CO2排出量の見える化」の推進

市役所とコモッセに施設の電力使用量やCO2排出量を表示するモニターを設置した。

(2) ゼロカーボン協力事業者・市民の募集

① 脱炭素行動事業者認定制度

脱炭素行動に取り組む事業者の申請を受け、市が公表する「脱炭素行動事業者認定制度」について、9者を新たに認定、認定事業者は22者となった。

② ゼロカーボンサポーター制度の創設

ゼロカーボンサポーター制度を創設した。サポーターには「サポーター証」を配布し、できる範囲での脱炭素行動への協力を求め市民の行動変容を促した。サポーター数は令和6年度末で195名。

(3) FM公告による情報発信

鹿角きりたんぼFMにて、市の脱炭素関連情報を伝える、「鹿角ゼロカーボンラジオ Nice Action!」（全40回）を毎週火曜日に放送し、普及啓発及び市民の行動変容を促した。

(4) 再エネ設備見学会の実施

11月17日（日）に、太陽光パネルや蓄電池、薪ストーブを導入した家庭への見学会を開催し、設備導入の利点を紹介しながら脱炭素への関心を高めた。



(5) 太陽光発電設備導入検討ツールの提供

NEDO（(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構）の日照量や屋根の斜度などから簡単に事業性をシミュレーションできる「太陽光発電設備導入検討ツール」を市ホームページで公開し導入検討への足掛かりをつくった。

(6) エネルギー産業育成プロジェクト（再エネ水素の利活用）

秋田県が設置している「洋上風力発電を契機とした秋田の未来づくり会議」で連携している、大手事業者二社（丸紅㈱、伊藤忠商事㈱）と水素利活用モデルやエネルギー関連産業の情報交換を実施した。

鹿角市地球温暖化対策実行計画に基づく令和6年度の実施状況について

項目	取組内容	二酸化炭素削減量	
		目標	実績
対策1 再エネ電気メニューへの切替	大湯水力、小和瀬水力（仙北市）等電力調達開始 かづのパワーへの切替：市内への供給実績 18,060,930kWh(公共 67 件、民間 104 件) 市遊休地における太陽光発電事業者運転開始：5 件	4.62 万 t	9,536 トン (4,386 トン)※
対策2 自家消費型再エネ電源の導入	個人・企業向け太陽光発電・蓄電池導入支援：個人 10 件、法人 2 件	0.63 万 t	154 トン (128 トン) ※
対策3 EVへの切替	EV試乗体験会の開催（10/14 道の駅あんたらあ）体験者数：34 人 コムス貸出実証事業 貸出実績：2 件 EVに関する市民アンケートの実施 事業者向けEVセミナーの開催（2/21 感動鹿角パークホテル）参加者数：43 人 市内で販売されたEV台数：22 台	0.05 万 t	77 トン (36 トン) ※
対策4 省エネ設備への更新	公共施設の省エネ診断の実施：2 件（福祉保健センター、大湯ストーンサークル館） 企業向け省エネ設備の更新支援：15 件 省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）購入支援：189 件 高効率空調・照明等導入支援 空調：個人 19 件、法人 4 件、給湯器：個人 9 件 公共施設のLED化工事：1 件（花輪さくら保育園）	0.20 万 t	407 トン (301 トン) ※
対策5 建物の熱対策	家庭向け薪ストーブ導入支援：3 件 「安全安心住まいづくり事業」における断熱改修工事支援：31 件	0.66 万 t	72 トン (39 トン) ※
対策6 適切な森林管理	森林経営管理計画に基づき除伐を実施：管理面積 742.9ha のうち 36.64ha 再造林に対する支援：2 件、15.26ha 間伐路網整備の支援：4 件、71.25ha	—	—
対策7 その他脱炭素行動の促進	きりたんぼFMゼロカーボンラジオ「Nice Action」の放送：40 回 再エネ設備等導入住宅見学会（11/17 八幡平）：参加者 6 名 脱炭素行動事業者認定：認定数 9 者 ゼロカーボンサポーター制度の創設：登録者 195 名 水素エネルギー利活用にかかる勉強会（3/18 交流センター）：参加者 18 名	数値目標なし	数値目標なし
合計		6.16 万 t	10,246 トン (4,890 トン) ※

※（ ）内の削減量は令和6年度からの純増分。

（進捗率 16.6%）

鹿角市地球温暖化対策実行計画の進捗について（令和 7 年度）

対策 1 再エネ電気メニューへの切替

内 容： かつのパワーが再エネ電源を確保しながら地域の再エネを供給し、電気由来の CO2 を削減します。

削減量目標： 4.62 万 t-CO₂、対策目標：市内電力需要の 50%、約 8,700 万 kWh の切替

－＜実施予定＞－

(1) かつのパワーの電源確保

かつのパワーの地産地消電源の確保に取り組む。

(2) 再エネ電気メニューへの切替促進

① かつのパワーの市内への電力供給量

	令和 5 年度（実績）	令和 6 年度（実績）	令和 7 年度（～1 月）
契約数	63 件 （公共 57、民間 6）	171 件 （公共 67、民間 104）	413 件 （公共 212、民間 201）
供給量	9,754,730kWh	18,060,930kWh	17,182,139kWh
削減量	5,150t-CO ₂	9,536t-CO ₂	9,072t-CO ₂

※電力の排出係数 0.000528t-CO₂/kWh（東北電力 2018 年値 R2.1 公表）

② 再エネ電気料金負担軽減支援事業（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

かつのパワーとの契約施設、家庭の増加に努める中で、再エネ電気（低圧）を使用する個人や事業者の電気料金の一部を助成する再エネ電気料金負担軽減支援事業を実施。

令和 7 年 7 月検針分から令和 8 年 1 月検針分までの電気料金を 1kWh あたり 6 円補助するもの。補助期間内の上限額は個人 1 契約あたり 4 万円、事業者 1 契約あたり 8 万円とする。

12 月末現在、個人 91 人、事業者 88 者に対し支援を実施している。

(3) 地域向け電源の導入促進（再エネ推進交付金事業）

地域脱炭素移行・再エネ推進事業（重点対策加速化事業）を活用し、かつのパワーへ供給する「地域向け電源」確保のため、市有地（1 件）及び促進地域内の民有地（4 件）で太陽光発電を実施する事業者を新たに公募。

市有地の 1 件は事業完了予定だが、民有地は問い合わせがあるものの、正式な申請には至っていない。

＜市有地＞

件数	出力	場所
1 件	50kW	旧平元小学校グラウンド跡地

＜民有地＞

件数	出力	場所
0 件	0kW	なし

対策2 自家消費型再エネ電源の導入

内 容： 自家消費型の太陽光、木質バイオマスコジェネを導入し、電気由来のCO2を削減します。

削減量目標： 0.63万t-CO2、対象目標：太陽光10,000kW、木質バイオマス320kW

－＜実施状況＞－

(1) 再エネ設備の導入支援（再エネ推進交付金事業）

個人・事業者の自家消費型太陽光・蓄電池の導入に係る初期費用について補助事業を実施する。

内訳	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	合計
個人	6件 (47.7kW)	10件 (75kW)	9件 (56kW)	16件 (122.7kW)
事業者	0件	2件 (105kW)	1件 (16kW)	3件 (121kW)

(2) 公共施設への太陽光発電設備設置

鹿角市立立山文庫継承十和田図書館の新築に伴い、18kWの太陽光発電設備を設置した。

対策3 EVへの切替

内 容： EVに必要なインフラを整えることで、EVへの切り替えを進め、動力由来のCO2を削減します。

削減量目標： 0.05万t-CO2、対策目標：300台

－＜実施状況＞－

(1) コムスを活用したEV体験会の開催

一人乗りの電気自動車コムスを活用し、1月15日に開催した企業を対象とした脱炭素経営セミナーの中で体験会をコモッセにて開催し、電気自動車購入の機運醸成を図った。

(2) コムス貸出実証

コムス1台を1団体に貸し出し、モニター調査を行い、EV転換への関心と理解を深めた。

(3) 公共施設への充電設備の導入調査

民間事業者から公共施設への普通充電器の無償設置の提案がなされていることから、設置施設・運営方法等の調査を行っている。

対策4 省エネ設備への更新

内 容： 省エネ機器への更新を進め、電気・熱由来のCO2を削減します。

削減量目標： 0.2万t-CO2、対策目標：市内電力需要の2%、約370万kWh/年

－＜実施状況＞－

(1) 省エネ診断の推進

新たに2施設（十和田市民センター、尾去沢中学校）について省エネ診断を実施し、成果を公表し市内事業者の省エネ診断実施を啓発する

(2) 省エネ設備更新の支援

① 省エネ家電購入支援補助金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

個人の省エネ冷蔵庫の購入に係る費用について補助事業を実施する。

更新設備	件数	エネルギー削減量	CO2削減量
冷蔵庫	105件	電気 27,840 kWh LPガス 0 m ³ 灯油・重油 0 kL	14.7t-CO2

② 高効率空調・照明等導入補助金（再エネ推進交付金事業）

個人・事業者の高効率な空調、給湯、調光機能付き照明設備の導入に係る費用について補助事業を実施する。（個人70件、事業者20件程度を想定）

更新設備	件数	エネルギー削減量	CO2削減量
空調（個人）	66件	電気 -31,531 kWh LPガス 0 m ³ 灯油・重油 37,324 kL	76.1t-CO2
空調（事業者）	17件	電気 -44,912 kWh LPガス 0 m ³ 灯油・重油 22,562 kL	37.61t-CO2
給湯（個人）	18件	電気 58,708 kWh LPガス -1,322 m ³ 灯油・重油 65,495 kL	185.4t-CO2
合計	101件	電気 -17,735 kWh LPガス 0 m ³ 灯油・重油 125,381 kL	299.11t-CO2

④ 公共施設の省エネ設備への更新

- ・ 錦木地区市民センター、かなやまアリーナの照明 LED 化
- ・ 交流センターの高圧受電設備更新
- ・ 大湯温泉保養センターの空調更新、照明 LED 化
- ・ 毛馬内保育園、認定こども園（八幡平なかよしセンター）の照明 LED 化
- ・ 花輪小学校、十和田中学校の照明 LED 化
- ・ 大湯ストーンサークル館の照明 LED 化

対策5 建物の熱対策

内 容： 断熱改修や ZEH、薪ストーブ、木質バイオマス熱利用機器の導入を進め、電気・熱由来の CO2 を削減します。

削減量目標： 0.66 万 t-CO2、対策目標：66 件/年の断熱改修、ZEH、薪ストーブ導入、木質バイオマス熱利用 3 件

－＜実施状況＞－

(1) 木質バイオマス熱利用の導入支援（再エネ推進交付金事業）

家庭向けの薪・ペレットストーブの初期費用に対し補助する（10件程度を予定）。

内訳	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	合計
個人	4件	3件	0件	7件

(2) 住宅の断熱改修支援（安全安心住まいづくり事業）

住宅の断熱改修工事に対し補助を実施する（20件程度を予定）。

内訳	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	合計
個人	25件	31件	30件	86件

対策6 適切な森林管理

内 容： 森林経営管理計画を進め、間伐や伐採・再造林など適切な森林管理を継続し、森林吸収量を維持します。

削減量目標： 吸収量 15.7万 t-CO₂ を維持

対策目標： 森林経営管理計画のカバー率 100%

－＜実施状況＞－

(1) 適切な森林管理

① 森林経営管理推進事業

管理計画に基づく森林管理業務を実施中である。

② 再造林の推進

再造林等について実施の届出がなされている。

③ 間伐の推進

搬出間伐について、補助を実施している。

(2) 林業人材の育成

新規就業雇用事業、林業大学生への家賃補助への補助制度を実施する。

対策 7 その他脱炭素行動の促進

内 容： 節電、クールビズ、節水、公共交通の利用、ごみの削減、低炭素商品の選択など、CO2削減行動に努めます。

削減目標： なし、対策目標なし。

－＜実施状況＞－

(1) 「CO2排出量の見える化」の推進

市役所とコモッセに施設の電力使用量やCO2排出量を表示するモニターを設置した。

(2) ゼロカーボン協力事業者・市民の募集

① 脱炭素行動事業者認定制度

脱炭素行動に取り組む事業者の申請を受け、市が公表する「脱炭素行動事業者認定制度」について、4者を新たに認定、認定事業者は26者となった。また、3者を優良事業者として表彰した。

② ゼロカーボンサポーター制度の推進

個人の補助事業実施者を対象に「サポーター証」を配布し、できる範囲での脱炭素行動への協力を求め市民の行動変容を促した。サポーター数は令和8年1月末で300名。

(3) FM放送による情報発信

鹿角きりたんぼFMにて、脱炭素関連情報を伝える、「鹿角ゼロカーボンラジオ Nice Action!セカンド」(全52回)を5月1日から毎週木曜日に放送し、再エネの最新事情や解説、市内で再エネ発電を実践する事業者の紹介等によりゼロカーボンシティに向けた情報発信及び市民の行動変容を促している。

(4) 脱炭素経営セミナーの開催及び東京展示会の視察

脱炭素経営を後押しするため、事業者のリスク軽減と未来への投資を促進し、市内企業の成長につなげることを目的にセミナーをかづの商工会と共催で開催。秋田県温暖化対策課と秋田市で環境教育や気候変動対策、SDGs推進などを柱に国内外で事業を展開している(一社)あきた地球環境会議の各担当者が講師となり、単なる環境対策ではなく、防災力強化、地域経済の活性化に加え、企業競争力の向上につながっていくため官民連携して推進していく必要性について講演いただいた。

また、東京ビッグサイトで1月28日から30日にかけて実施されたエネルギーイノベーション総合展を市と共に視察する事業者を募集したものの、申し込みに至らなかったため、市単独で視察を実施した。

(5) エネルギー産業育成プロジェクト(再エネ水素の利活用)

秋田県が設置している「洋上風力発電を契機とした秋田の未来づくり会議」で連携している、大手事業者三社(丸紅㈱、伊藤忠商事㈱、三菱商事㈱)と次世代型地熱発電技術と本市の状況について情報交換した。